

町民の消息

(4月26日～5月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

みなかわ きなり
皆川 希鳴 (男/範仁・安衣里) 黒 谷

■おくやみ申し上げます

目黒	レイ	91歳	只見
星	素行	95歳	黒谷
長谷部	伸子	93歳	只見
横山	クメノ	95歳	樋戸



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和8年5月1日現在

人	口	3,376 (+12)
男		1,685 (+3)
女		1,691 (+9)
世帯数		1,454 (+21)
高齢化率		48.5%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 33 転出 19 出生 1 死亡 3

あ
と
が
き

▽取材を通じて、改めて山の事を知らないと思いました。これだけ豊かな自然、山々に囲まれていながら、どうして私は山に行かないのだろう(たまく)に登山はしますが)。たくさん山に入って「山を覚える」ことができたらカッコいいな!

▽鳥獣被害はすぐに解決する問題ではないと思います。だからこそできることから取り組んでいきたいと思います。取材にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。(滝沢)

朝日公民館 図書紹介

朝日公民館図書室
☎84-2111

おすすめ新着図書

★青天



【著】若林正恭(文藝春秋)
人につかかっていないと、自分が生きていくかどうかよくわからなくなる——
総大三高の「アリ」こと中村昂が所属するアメフト部は、万年2回戦どまり。相手校の練習を隠し撮りして迎えた高3の引退大会では、強豪・遼西学園に打ち破れた。引退後、みなが受験に向かうなか、勉強にも気持ちが入らず、不良になる覚悟もないまま宙ぶらりんの日々を過ごす。自分自身の不甲斐なさにもがき続けるなかで、アリは再びアメフトと向き合う決意を固める。

オードリー・若林正恭、青春の苦みと悦びに満ちた、渾身の初小説。

★ミニマリストを挫折した人に読んでほしい、いる物・いない物がスッキリわかるワークブック



【監修】阪口ゆうこ(宝島社)

ミニマリスト歴10年の阪口ゆうこさんの「過不足ない」「自分にとってちょうどいい」暮らしは、いいことづくめ。何より気分がよく、ハッピーでいられます。とは言っても、「過不足ない」や「ちょうどいい」量や種類を計算するのってとても難しいもの。ここで挫折してしまう人も多いかもしれません。……そのつまずきを無理なく越えられるよう、一緒に「ちょうどいい」を探すのがこの本のテーマです。

○朝日公民館ではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。



町民憲章

- ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう